

長崎大学教育学部附属特別支援学校 学校だより（2月号）

青空いっぱい

発行責任者：校長 田中昭二

長	長所を伸ばそう
大	大好きなことを見つけよう
と	ともだちとチャレンジしよう
く	くらす力をつけよう
し	しごとをする力をつけよう

教育実習が始まりました

2月9日（火）から教育実習が始まりました。今回は教育学部特別支援教育コースの3年生13名が3月5日（金）まで教育実習に取り組みます。ところで、教育実習には「主免実習」と「副免実習」があります。「主免実習」というのは、特別支援教育コースの学生が「特別支援学校教諭免許状」を取得するために必要な実習のことを言います。一方、「副免実習」というのは、幼児教育コースや小学校教育コース、中学校教育コースの学生が、それぞれの校種（幼稚園、小学校、中学校）の免許状のほかに「特別支援学校教諭免許状」を取得するために必要な実習のことを言います。

皆様も御存じのとおり、特別支援学校だけではなく、幼稚園、小学校、中学校、高等学校においても特別支援教育が推進されており、「特別支援学校教諭免許状」の取得を希望する学生が多くなります。そのため、本校では「副免実習」を6月と10月に、「主免実習」を2月に行っています。

さて、今回の「主免実習」では、実習生一人一人が指導案を計画して授業を行う「実地授業」（二つの授業）、主担任として学級経営を行う「一日担任」（二日）に学生は取り組みます。その他にも、サブティーチャーとしての指導や学級副担任の業務にも取り組みます。本校の教員にとっては、モデルとなる授業を見せたり、指導案作成を指導したりするため、教育実習の機会は「自分の授業、指導を見つめ直す」機会となります。学生の皆さん。体調に留意され、学びの多い教育実習になることを願っています。



新しい生徒会役員が決まりました

2月15日（月）に生徒会役員選挙が行われ、新しい生徒会長、副会長、中学部長が決まりました。今年は、密を避けるため、投票日までの選挙演説を校内放送で行うとともに、当日の投票前演説については、候補者と応援者は多目的ホールで演説し、その様子を遠隔中継して、それを有権者の生徒は場所を分かれて視聴するという方法で行いました。

新しい生徒会役員は、「楽しく明るい学校にしたい」「レクリエーションを企画したい」「旗の上げ下げを頑張りたい」など、意欲満々です。これまでの生徒会活動の内容に限らないで、生徒主体の様々な取組を期待しています。

時々思い出すこと

突然のことですが、私は過去の出来事をあまり鮮明に覚えていません。ぼんやりとは覚えていますが、しかし、「あのとき、こうやったよね」と周りの人が話しても、かなり「覚えていない」ということがよくあります。このような私ですが、時々思い出す出来事があります。

私が小学部1組の担任をしたときのことで、子供たちの着替えが終わり、帰りの会を始めるため、椅子を並べて子供たちは座り始めました。ところが、Aさんがほうきを手にして得意げに掃除を始めました。「Aさん。帰りの会をするから、ほうきを片付けなさい」と声をかけますが、Aさんは止めようとしませんでした。しばらく、このようなやりとりをしたのですが、Aさんは納得いかない様子で黙って動こうとしませんでした。子供たちを待たせていたので、私はAさんのほうきを取り上げて帰りの会を始めました。Aさんはそのまま帰りの会に参加しないで下校することになりました。

「Aさんは何を思っていたのだろうか？」と考えたのですが、答えは簡単なことで、Aさんは教室に落ちていたゴミに気付いて掃除をしていたのです。あのとき、例えば「あらー、ゴミが落ちたよね」と一言声をかけて一緒に掃除をしていれば、Aさんも納得して次の行動に移れたのではと思います。子供たちの言動の背景、考えに思いをはせる力や子供たちへ向き合う姿勢のなさを反省しました。

私の中では、子供たちに向き合うときに思い浮かべる大切な出来事の一つです。ところで、私が「覚えていない」ということで心配されたのではないかと思います。肝心なことはしっかりと覚えていますが、御安心ください。



学校評価

学校評価アンケートに御協力いただき、ありがとうございました。アンケートの集計、分析を終え、3月に行う学校関係者評価委員会にて報告をし、委員の皆様からの御指導・御助言をいただきます。保護者の皆様には改めて結果を御報告します。

